

## 2021年度(令和3年度) 関西創価中学校 学校評価

### 【教育基本目標】

<1> 「語学」と「読書」を柱に、主体的に学ぶ生徒の育成	【可能性の育成】
<2> 「感謝」の心を大切に、他者を認め、互いに励まし合う生徒の育成	【心の育成】
<3> 創立者に学び、世界市民となりゆく生徒の育成	【世界市民の育成】

### 【中期的目標】

<p><b>〔Ⅰ〕教育理念に基づく「人間教育」の推進</b></p> <p>(1)「語学」と「読書」を柱に、主体的に学ぶ生徒の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自ら学び、互いに学び合う」学習習慣を身につける</li> <li>・4技能習得を目指し、外部試験・外部スピーチ等を活用しながら、英語力の向上を図る</li> <li>・朝読書とビブリオバトルをさらに充実させ、名著に挑戦する</li> </ul> <p>(2)「感謝」の心を大切に、他者を認め、互いに励まし合う生徒の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自ら」「明るく」「笑顔」であいさつする習慣を身につける</li> <li>・協働を通して他者を称え、「ありがとう」と感謝の心を伝える</li> <li>・各種行事を通して、「話す力、聞く力、他者とつながる力」を育む</li> </ul> <p>(3)創立者に学び、世界市民となりゆく生徒の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の教育活動や各種行事の取り組みを通して、創立精神を学ぶ</li> <li>・社会で活躍する方の講演会や懇談会などを通して、世界市民としての資質を育てる</li> <li>・SDGsを核とした「探究」の学びを通して、世界に目を向けた取り組みを進める</li> </ul>
<p><b>〔Ⅱ〕教育力向上への挑戦</b></p> <p>(1)授業力向上の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「主体的・対話的で深い学びの実現」をもとに授業改善に取り組む</li> <li>・ウェブサイトなどを活用し校内研修をさらに充実させるとともに、外部研修に積極的に参加する</li> <li>・授業を見学し合い、互いにアドバイスし、切磋琢磨し合う</li> </ul> <p>(2)生徒理解への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全教員で生徒一人ひとりとの個人面談を積極的に実施する</li> <li>・総合調査やアンケートを通して一人ひとりの状況を多角的に把握し対応する</li> </ul> <p>(3)支援教育への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の状況に合わせた教育を推進するとともに多様性に応じた教育環境を整える</li> <li>・「支援センター」を設置し、全教員が協力して支援教育を推進する</li> </ul>
<p><b>〔Ⅲ〕「無事故の学園生活」に向けた安心・安全への取り組み</b></p> <p>(1)各種セミナーを実施し、正しい知識を身につけ、マナーの向上を図る</p> <p>(2)通学路の安全対策強化とともに、登下校マナーへの意識改革を図る</p>

### 【自己評価アンケートの結果と分析・学校関係者評価委員会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析	学校関係者評価委員会からの意見
<p><b>【生徒に対する取り組み】</b>                      コロナ禍下での学校運営が継続する中、感染防止対策を行いつつ、生徒たちの学びの保障について、十分な手ごたえを持って行えた。                      ICT機器(Chromebook)を活用することで、対面・オンラインの区別なく、生徒の学力向上に資する授業展開を工夫できた。                      インクルーシブ教育を研究テーマに掲げた1年間だったが、各教科への展開が十分とは言えなかった。</p> <p><b>【保護者に対する取り組み】</b>                      保護者ポータルサイトの運用については軌道に乗ってきており、情報発信量が増えてきた。その半面、情報が埋もれてしまい必要な情報になかなかたどり着けないとの意見もいただいている。                      対面での保護者会を開くことができなかった。この点については、公立校の取り組みなどを取り入れることで、今後実施可能なものもあると考えられるため、工夫していきたい。</p> <p><b>【教員に対する取り組み】</b>                      「外部研修への積極的な参加」を打ち出していたが、コロナ禍で中止となった研修も多くあり残念だった。ただ、オンライン開催の研修も増えてきたことから、研修自体への参加のハードルが下がってきている面もあるため、更に呼びかけをしていきたい。                      授業の相互見学による授業力向上の取り組みについては、道半ばといったところ。教科の組み合わせや授業研究会の持ち方などを工夫して、更なる授業力向上に全校挙げて更に取り組んでいきたい。</p>	<p>「グローバルパスポート」は関西創価中学校独自の取り組みのため、入学したての1年生の保護者にとって、どのような場合にマイルが発行されるのかが今一つ分かりづらい。学校からは見えないところで頑張っている生徒の一面も評価できるようなしくみにしてもらえるとありがたい。</p> <p>コロナ禍の中、オンライン中心の学習活動となり、できなかったことも多かったと思うが、生徒たちの頑張りによりアンケート評価も向上しているのは素晴らしい。</p> <p>文部科学省の音頭で新しく始まった、小・中・高とつなげていく「キャリアパスポート」の取り組みは非常に重要であると捉えている。</p> <p>オンライン形式の授業は、初めの頃は物珍しさもあったが、慣れてくると子供たちの集中力は2時間程度しか続かないように見える。またかなり疲れてくるようでもあり、どう改善していけばいいか分からない。</p> <p>小・中・高一貫教育の利点を生かした取り組みを、更に発展させていきたい。ユネスコスクールも高校が先鞭をつけ、小・中もチャレンジ校として取り組みを始めた。ここを皮切りに、一貫した世界市民教育を推進していけるよう、協力し合っていきたい。</p> <p>登下校のマナーでも、頑張っている生徒の姿をよく見かけるようになった。</p>

【本年度の取り組みについて計画・実践・評価指標・自己評価】

中期的目標	今年度の重点目標	取り組み計画・内容	評価指標	自己評価
教育理念に基づく「人間教育」の推進	(1)【可能性の育成】 ア. 「自ら学び、互いに学び合う」学習習慣を身につける  イ. 4技能習得を目指し、外部試験・外部スピーチ等を活用しながら、英語力の向上を図る  ウ. 朝読書とビブリオバトルをさらに充実させ、名著に挑戦する	「学び合い」授業の推進、各自が目標を持った学習への取り組みを推進  英検やTOEFLの推進、外部コンテストへの推進、英語暗唱大会の充実  分野別ビブリオバトルの実施、グローバルパスポートの分野別ポイント等検討	「学び合い」方式を取り入れた授業の割合  外部コンテストへの参加率  学期に1回のビブリオバトル実施	部分的であっても「学び合い」方式を取り入れた授業の割合は50%を超えるようになった。  年1回の英検全員受験は継続して実施できた。高円宮杯英語スピーチコンテストや交野市英語プレゼンテーション大会で上位入賞した。 コロナ禍ではあったが、オンラインも活用して学期1回のビブリオバトルは継続して実施できた。
	(2)【心の育成】 ア. 「自ら」「明るく」「笑顔」であいさつする習慣を身につける  イ. 協働を通して他者を称え、「ありがとう」と感謝の心を伝える  ウ. 各種行事を通して、「話す力、聞く力、他者とつながる力」を育む	教員・生徒ともに日常的にあいさつを実践  協働作業を通じて、ありがとうキャンペーンを実施  1分間スピーチ、ビブリオバトル、暗唱大会、朗読コンテスト、対話会等実施	日常的に挨拶を交わす生徒の割合  キャンペーンの実施  各種コンテスト等の実施	長いオンライン期間があったからこそ、挨拶の重要性を教員・生徒ともに実感し、校内で挨拶の声をよく聞くようになった。  三大行事の取り組みの一環として、「ありがとうキャンペーン」を実施した。  コロナ禍のため、朗読コンテストは実施できなかった。対話会は、オンラインを活用するなどの工夫で実施できた。
	(3)【世界市民の育成】 ア. 日々の教育活動や各種行事の取り組みを通して、創立精神を学ぶ  イ. 社会で活躍する方の講演会や懇談会などを通して、世界市民としての資質を育てる  ウ. SDGsを核とした「探究」の学びを通して、世界に目を向けた取り組みを進める	三大行事を中心に、研修行事や道徳、HR等で創立精神を学ぶ  文化講演会、キャリアガイダンス、アメリカ創価大学(SUA)生懇談会等の実施  総合的な学習の時間(土曜日)を利用し、SDGsを通じた探究プログラムを推進	創立精神学習の実施  講演会等の実施  探究プログラムの開発と実施	三大行事の取り組みの一環として、創立精神学習を行った。  コロナ禍の為、オンライン開催となったが、文化講演会、キャリアガイダンス、SUA生懇談会を行うことができた。 有志による「チーム探究」を発足させ、2022年度スタートに向けて探究プログラムの開発を進めることができた。
教育力向上への挑戦	(1) 授業力向上 ア. 「主体的・対話的で深い学びの実現」をもとに授業改善に取り組む  イ. ウェブサイトなどを活用し校内研修をさらに充実させるとともに、外部研修に積極的に参加する  ウ. 授業を見学し合い、互いにアドバイスし、切磋琢磨し合う	授業参観後、教頭と「授業改善のための懇談」を実施  月1回、火曜日に教員研修を実施  学期に1回、オープンクラスマンズを実施	教頭による授業参観と懇談の実施  月例研修の定例化  オープンクラスマンズの実施	コロナ禍の影響もあり、教頭による授業参観と懇談の実施は一部にとどまった。  月例研修の定例化は軌道に乗ってきている。  一部オンラインも取り入れるなど、密にならないよう工夫しながら、オープンクラスマンズを実施した。
	(2) 生徒理解 ア. 全教員で生徒一人ひとりの個人面談を積極的に実施する  イ. 総合調査やアンケートを通して一人ひとりの状況を多角的に把握し対応する	担任・副担任、クラブ顧問として担当する部署の全生徒との面談  i-check、いじめアンケートの実施と分析を通して、未然防止に活用	全生徒との面談を実施  i-check、いじめアンケートの実施	一部オンラインも取り入れながら、生徒との面談を実施することができた。  i-checkは年2回の計画であったが、コロナ禍の影響で1回の実施にとどまった。
	(3) 支援教育 ア. 個々の状況に合わせた教育を推進するとともに多様性に応じた教育環境を整える  イ. 「支援センター」を設置し、全教員が協力して支援教育を推進する	「中学サポート」の充実、特別支援コーディネーターの確立、個別支援計画の作成  支援会議の実施、支援教育に関する教員への研修実施	支援コーディネーターの専属化、個別支援計画の策定  支援会議の実施、教員研修の実施	授業負担を大きく軽減した支援コーディネーターのもと、個別支援計画のフォーマットを策定し、実施にこぎつけることができた。 支援会議を定例化するとともに、支援に特化した教員研修を年1回実施することができた。
安全・安心への取り組み	(1) 各種セミナーを実施し、正しい知識を身につけ、マナーの向上を図る	食育、ネット、防犯、防災、薬物乱用防止等、各種セミナーの実施	各種セミナーの実施	オンラインでの実施となったものが多かったが、各種セミナーを全て実施することができた。
	(2) 通学路の安全対策強化とともに、登下校マナーへの意識改革を図る	生徒会活動の活性化、登下校指導の充実、安全セミナーの実施	無事故の達成	登下校に関わる大きな事故はなかった。今後ともマナーの向上に取り組んでいきたい。

## 【まとめと改善点】

自己評価と学校関係者評価を踏まえ、今後の重点的な目標・指導計画・改善方策および学校運営のあり方について、以下にまとめました。

### 1. 今後、重点的に取り組む目標・計画

学校教育目標においては、PDCAの観点より生徒ならびに保護者の声を反映した見直しを行い、さらなる生徒の健全な育成のため、より具体的な教育目標を掲げていく。

目標に示した各項目については、なお一層、その成果を上げるための計画および具体的な改善方法を検討するとともに、新たに策定した「育てたい学園生像」を中心に据え、全教員が一体となって更なる学校変革を推進していく。

#### ① 教員の資質向上

教員の教育力向上のために人材育成の研修体制を整え、全教員が各自のテーマに沿った研究を進める。校内においても青年研修、生徒指導研修、生徒支援研修など定期的を開催する。また、公開授業や研修に役立つ総合情報ウェブサイトを導入し、個々の研修の機会拡大と充実を図る。

#### ② 授業充実

生徒の主体性・積極性・創造力等を培うため「主体的・対話的で深い学び」の実践を推し進め、研修やセミナーへの積極的な参加、研究授業の実施、公開授業の取り組みなどを通じて、教員間に「授業力向上」の気風を定着させることを目指す。

#### ③ 読書教育の充実

「子供の読書活動優秀実践校」「朝の読書大賞受賞校」として、生徒全員が積極的に読書へ取り組めるよう一層の工夫を凝らし、ビブリオバトルも継続して開催する。

また、授業での図書館の利用を積極的に進め、手軽に本に親しめるよう学級文庫の更なる充実を図る。

#### ④ 創始精神学習の充実

創始教育の基本となる創始精神を学ぶため、アーカイブ資料を授業で活用できるよう推進する。

また、行事の取り組みを通じて、心の育成を更に推進し、実行力・実践力の向上に努める。

#### ⑤ 生徒の評価活動の充実

生徒の「学び」への自発的な取り組みを進めるエンジンとして、「グローバルパスポート」の活用を一層進める。また、一人一人が「学び」の分野拡大に積極的に取り組めるような環境作りを推進する。さらに、主体的な生徒会活動を推進し、生徒による振り返り活動を充実させる。

### 2. 今後の学校運営のあり方

「最大の教育環境は教師自身である」とは「創始教育の精神」であり、教員の資質向上こそが「学校教育力」の基礎と言える。

本校では創始精神や教育方針を根幹に据えつつ、生徒・保護者のニーズに応えうる教育活動を展開していきたい。そのためには、保護者ならびに学校を支えてくださっている関係者の方々による評価を謙虚に受け止め、常に改善に努めていく。

また、教育内容の充実を一層図るとともに、新たに策定した「育てたい学園生像」に即して学校運営を見直していく。

更に教員研修への参加を推奨し、教員の資質向上に努め、学校全体の教育力向上に一層努めていきたい。